



看護部だより

第2号

令和5年6月発行

発行：慈雲堂病院

編集：看護部

慈雲堂リソースナース紹介

活動目標

食べることは生きることに直結しています。何らかの原因で食べることが難しくなっている患者さんやそのご家族へ、安全に食べる楽しみを提供できるように支援しております。また医師の指示のもと「手順書」に基づき、輸液による脱水の補正の特定行為も実施しております。

具体的な活動

- ・嚥下評価、嚥下訓練、摂取方法、姿勢、口腔ケア等の相談・指導・実践
- ・誤嚥性肺炎、窒息、栄養低下、脱水の増悪防止に向けたリスク管理などの相談・指導・実践
- ・摂食嚥下に関する講義の担当 ・口腔ケア委員会（月1回）
- ・栄養サポートチーム（NST）におけるカンファレンス・院内回診参加、研修の運営

今後の課題

院内を横断的に活動しながら摂食嚥下に障害がある患者さんへの介入を行っております。日々の介入で「このやり方は正しいのだろうか？」など疑問に思う時は、気軽に話しかけて頂ければと思います。認定看護師など興味がある方、是非お待ちしております。



摂食嚥下障害看護
認定看護師・特定看護師
伊藤 絵美

活動目標

こころの安全を一人一人が守れるように

具体的な活動

- ・新人教育や主任副主任研修を担当し、知ることで働きやすい環境
- ・記録委員としてエビデンスに基づく看護診断、計画評価による看護の質向上
- ・看護研究指導を通して、自ら学び問題に気づく力、解決方法を考える力、論理的に言語で表現する力を伸ばしてもらう

今後の課題

「継続と変革、そして未来へ」

- ・良いところは残しつつ新しいことにチャレンジ、未来につながるように



精神看護専門看護師（CNS）
小山 明美

活動目標

活動目標は軽度の認知症の方を含む憩いの場、認知症カフェ「えんがわ」が地域のコミュニティとして広まるように関わりたいです。

具体的な活動

2025年には4人にひとりが認知症患者とされています。遠い話と思っていたのがもうすぐそこです。しかし、社会の認知症患者に対する理解はまだ乏しいように思います。銀行や役所など生活に密着している所では認知症患者の対応などの勉強会も必要だと思っています。認知症になる前から無理なく体を動かし、栄養について学び、社会参加ができる場を作りたいと思い、私は練馬区のフレイル予防サポーターの研修を受けている所です。認知症カフェでも広めていけたらと思っています。

今後の課題

今後の活動としては、一緒に活動する認定看護師を育成していくことです。



認知症認定看護師
大森 幸枝